

安行小の環境学習・活動の紹介

ペットボトルキャップ回収

菊次 哲也

前号では安行小学校の「牛乳パック・古紙回収」の取り組みを紹介しました。今号では児童会を中心に取り組んでいるペットボトルキャップの回収活動を紹介します。



児童会で集めたペットボトルキャップは(株)進栄化学にひきとってもらっています。キャップはプラスチックの材料にリサイクルされて、また新しいプラスチック製品に生まれ変わります。どんな製品に生まれ変わるかというと、自動販売機の横にあるゴミ箱、植物を育てる鉢などだそうです。

小さなペットボトルキャップでも、分ければ大切な資源となります。分別しなければゴミになってしまいますが、分ければリサイクルすることができるとは驚きです。ゴミとして燃やされるとキャップ430個で、3150gの二酸化炭素もが生じます。しかし、リサイクルすると資源となり、430個で10円になります。

キャップのお金は(株)進栄化学から直接「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に送られ、恵まれない子どもたちに送るポリオワクチンに変わります。1人分20円です。20円(860個のキャップ)で、1人の子供の命を救うことができます。

安行小学校では6月から2Lのペットボトルをキャップの貯金箱として利用して、毎月1回定期的に集めることとしました。2Lのペットボトルに入りきれないほどたくさんの方が出る人はビニール袋で持ってきてもかまいません。持ってきた子どもたちは「5くすのき」も行うことができます。



毎月第1、第3金曜日が「紙の日」(子どもたちが参加するのは第3金曜日が中心です) 第4金曜日が「ペットボトルキャップの日」となりました。子どもたちが楽しみながら参加できる環境活動、「エコ活動」を目指しています。